

2021.10.24. 聖書預言アップデート

現実の話

JD ファラグ牧師

日曜日の朝の第一礼拝は、「聖書預言・アップデート」に捧げており、毎週、「聖書預言・アップデート」を行います。日曜日は2つの礼拝があり、第二礼拝が、節ごとの「聖書の学び」です。現在「ヘブル人への手紙」で、今日は、11章21節22節を学びます。それが、ハワイ時間11時15分からライブ配信します。今日は、人生の終わりというレンズを通して自分の人生を見ることが、どのように生き方に大きな影響を与えるかを見ていきます。今日は、人生の終わりというレンズを通して自分の人生を見ることが、どのように生き方に大きな影響を与えるかを見ていきます。今日は、人生の終わりというレンズを通して自分の人生を見ることが、どのように生き方に大きな影響を与えるかを見ていきます。それが第二礼拝、ハワイ時間11時15分からです。また今、ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、直接「JDFarag.org」へ是非行かれるのをお勧めします。また今、ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、直接「JDFarag.org」へ是非行かれるのをお勧めします。検閲されない完全版の今日の「聖書預言・アップデート」を中断なしで、ご覧いただけますので。検閲されない完全版の今日の「聖書預言・アップデート」を中断なしで、ご覧いただけますので。では始めましょう。今、世界で起きていることの預言的な深刻さを、「現実の話」で示しますので、ご辛抱頂きたいと思います。今、世界で起きていることの預言的な深刻さを、「現実の話」で示しますので、ご辛抱頂きたいと思います。「現実の話」という意味は、誰かを怒らせないようにと、表面的な表現や言葉を選んだりすることなく、現実問題について大胆に語るのです。失礼だという意味ではありません。あなたの言葉は優しさに満ちていますが、真実と愛を語らなければならないという事。皆さん同意すると思いますが、今の世の中は、愛をもって真実を語ろうとしない人が最も許されません。因みに愛が故に、です。包み隠さず。実際に、神の御言葉と御言葉の神に目を向ければ、現実の話を見つけることができ、具体的には、おもに「エレミヤ書」にあります。実際に、神の御言葉と御言葉の神に目を向ければ、現実の話を見つけることができ、具体的には、おもに「エレミヤ書」にあります。私はこの神の男にとっても愛着があります。神の導きで、エレミヤ書に時間をかけ、この預言者と再度親しみました。親しみを込めて「涙の預言者」と呼ばれています。「(エレミヤ書) 20章7節」から始めたいと思います。というのは、エレミヤと主との対話のような感じで、本当はもっと論争的なのです。エレミヤは主と戦い、これに関するこの議論、論争で、もちろん、主が勝たれます。

エレミヤ書 20章

7 主よ。あなたが私を惑わしたので、私はあなたに惑わされました。あなたは私をつかみ、思いのままにされました。私は一日中笑いものとなり、皆が私を嘲ります。

8 私は、語るたびに大声を出して...

私は叫びました。これがエレミヤの好きなところですよ。彼は叫んだのです。私の心にぴったりの男ですよ。

...『暴虐だ。暴行だ』と叫ばなければなりません。主のことばが、一日中、私への嘲りのもととなり、笑いぐさとなるのです。

だから私は言いました。ここでエレミヤは「主よ、もうこ以上は無理です」と言い出したのです。

9 私が、『主のことばは宣べ伝えない。もう御名によっては語らない』と思っても、...

訳すと、「私は辞めます。」問題は？ 奴隷は辞められないのです。

彼は辞めたかった。でも、彼は御霊によって書いています。

...主のことばは私の心のうちで、骨の中に閉じ込められて、燃えさかる火のようになり、私は内にしまっておくのに耐えられません。もうできません。

つまり、辞めようとしても、辞められない。1章8節、これは主からエレミヤへの語りです。

エレミヤ 1

8 彼らの顔を恐れるな。わたしがあなたとともにいて、あなたを救い出すからだ。――主のことば。

そして9節で、エレミヤが書いています。

9 そのとき主は御手を伸ばし、私の口に触れられた。主は私に言われた。「見よ、わたしは、わたしのことばをあなたの口に与えた。「さあ、あなたはそれらを話さない。」

「ええでも、主よこれは厳しい言葉です。」皆さんが、エレミヤをご存知かどうかは分かりません。もしご存知なら、思い出してください。彼は自分のミニストリーで誰からも反応がなかったのです。こんにちエレミヤが生きていたら、講演を依頼されることはないと言います。彼の実績を見てください。つまり、自分が語るべき言葉が、主が心に火のように燃やして置かれた言葉が、人気があるはずがない、受け入れられないことを知っていたのです。聞くことを拒否する人々に出会うことになるのを。23章28節からです。

エレミヤ 23

28 夢を見た預言者は夢を語るがよい。しかし、わたしのことばを受けた者は、わたしのことばを忠実に語らなければならない。麦は藁と何の関わりがあるだろうか。――主のことば――

29 わたしのことばは火のようではないか――主のことば――。岩を砕く金槌のようではないか。

つまり、神の御言葉は、燃える火のように、ただひたすら打ち込み、打ち込み、貫き通す。皆さん、「第二テモテ4章」に精通していて、私たちはこのことについてよく話しますね。1節から4節を読みます。使徒パウロは、この若い牧師に手紙を書き、励まそうとしています。間違いなく、テモテは落ち込んでいます。テモテが落ち込んでいる理由の一つは、彼の説教や教えに、聞く耳の鈍い人たちが集まってくるからです。彼らは聞きたくないのです。

第二テモテ 4

1 神の御前で、また、生きている人と死んだ人をさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現れとその御国を思いながら、（そこに説教があります。）私は厳かに命じます。

2 節、3 語の命令があります。

2 みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。

忍耐の限りを尽くし、です。長く苦しむということです。大変深い意味と、学びがあります。テモテよ、その理由は、こういう時がくるからです。敢えて言えば、それが今です。

3 というのは、人々が健全な教えに耐えられなくなり、（彼らは聞きたくないのです）耳に心地よい話を聞こうと、自分の好みにしたがって自分たちのために教師を寄せ集め、

4 真理から耳を背け、作り話にそれて行くような時代になるからです。

「テモテよ、（こんな風に）耳が喜ぶような話をする教師のところに、大勢の人々が集まるような日が来るんだよ。」「大丈夫ですよ。あなたは良い人だから。神はあなたを愛しておられます。みんなで一緒にハグしましょう。」罪については語りません。地獄について語りません。

1 節でパウロが語るこのことについては、教えません。「裁き」「私を裁くな！」「私を裁くな！」を聞くとたびたび1 ドル貰えたらと思います。まあ、気にしないでください。木曜日の夜の礼拝は、神の御言葉/聖書を通して大変豊かな「イザヤ書」を学んでいます。主の御心で、再開することになりました。45 章を終えましたので、今週の木曜日は、46 章です。でも 30 章を学んでいた時、ある節がありました。8 節からをお読みします。こんにち私たちがいる状況にぴったりで、衝撃を受けました。お聞きください。神がイザヤに仰います。

イザヤ 30

8 今、行って、彼らの前でこれを板に書き、書物にこれを記し、後の日のために永遠の証しとせよ。

9 彼らは反逆の民、嘘つきの子ら、主のおしえを聞こうとしない子らだから。

10 彼らは予見者に『見るな』と言い、先見者にはこう言う。

(「聖書預言・アップデート」をもう止めろ！) ー(笑)ー

...『われわれについて正しいことを幻で見るな。われわれに心地よいことを語り、だましごとを預言せよ。』

「何ですって?!」つまり、聖典ページに書かれていなければ、私はそれを信じなかったでしょう。彼らは実際、こう言っていたのです。「正しいことを予言するのをやめろ。我々は何が正しいか分かっている。嘘を言え。」「私たちが聞く必要のあることを話したり、予言せず、私たちが聞きたいこと、耳に心地よいことだけを話せ。」さらに悪くなります。11 節、

イザヤ 30

11 道から外れ、道筋からそれ、(これ想像できますか?) われわれの前からイスラエルの聖なる方を消せ。』

読むのはもちろん、理解するのも辛いです。そう思いませんか? 彼らが実際に言っているのは、「そんなこと聞きたくない! ここから出ていってくれ。止めろ。」「我々に真理を語るな。聞きたくない。」「我々は真理ではなく、嘘を聞きたいのだ〜。」この機会に、厳しい話に聞く耳を持ち、現実の話を受け止める心を持った、ここにお越しの皆さん、オンラインの皆さんに、改めて感謝したいと思います。福音書の中で、イエスが大勢の人に教えておられるあの記述を思います。難しい教えです。大勢の人たちが、去り始めたと言われています。彼らはそれを聞きたくなかった。彼らはイエスから離れて行きました。大変興味深いのは、イエスが弟子たちに向き直って仰ったこと。それで、イエスは十二人(の弟子)に、

「あなたがたも離れて行きたいのですか」と言われた。(ヨハネ 6:67)

そしてペテロが、私はこれが大好きです。興味深いのは、ペテロが救世主にこう言うのです。

主よ、私たちはだれのところに行けるでしょうか。あなたは、永遠のいのちのことばを持っておられます。(ヨハネ 6:68)

なぜ興味深いかというと、まるでペテロが次のように考えているからです。

「離れたいけど、でも、どこに行けばいいんだろう? なぜなら、あなただけが、真理の御言葉、命の御言葉を持っておられるからです。私は聞きたくはないけれど、聞く必要があるのです。」ここ数週間のことを考えていました。自分自身を考えますが、人々は私から離れたいと思っているのだと思います。そしてその理由は、私は大変率直に言います。私がそう考え、そう言った理由は、私が自分から離れたかったからです。ー(笑)ー 厳しいです。でも、それが真理なのです。本当の事です。だから聞く必要があります。聞きたくない話かもしれませんが、私たちは、聞く必要があります。私たちがこの話を聞く必要があるのは、預言の舞台が用意されていて、そして、すべてがワープスピード/超高速で進行しているから

です。私がそのように言うのは、すべてが迅速に起こっていることから、当然のことだと考えます。電話で人と話して、こう言われました。「あの～牧師さん、私を許して欲しいのです。」私は言いました。「わお～何をしたの?」「実は去年、あなたの教えを聞くのを止めました。私はただ、あなたのアップデートを聞くのをやめました。もうあなたの預言アップを聞きたくなかったのです。」私が自分のアップデートを聞きたくないと思っていることを知って、彼女はとても喜んでくれました。つまり、からかっているのですか? そして彼女は言いました。「そして驚いたのは、ふと気づくと、あなたが話していたことが全て起こり始めた。その時、私は気づいたのです。だからこの話は聞きたくないんだ。でも聞く必要がある。聞かなければならない。」ご存知の方も多いと思いますが、私はこの2週間、これまでに、そして今も起こっているのと同じ速さで、今までに起こった全出来事について主を求め過ぎました。その大きな理由の一つは、未知の部分が多すぎるからです。そこで、私は唯一ご存知の方のところへ行き、この2週間、主に御座に嘆願し求めました。皆さんに言わなければなりません。イエスと素晴らしい時間を過ごしました。終わってほしくなかったです。私が示唆されたのは、今日ここにいるどなたかのための言葉かもしれない。これを聞く必要があります。実はあなたも聞きたいと思っているのです。私は、神が私たちを愛しておられることを深く実感しました。神はあなたがたを本当に愛しておられます。本当にあなたがたを愛しておられます。神があなたがたに持つておられる愛は想像を絶します。皆さん、主と一緒に過ごし、こう思ったことがありますか? 「どうか止めてください。一息つかせてください。主よ、十分です。」あ～、ふ～必要な静かな時間を過ごし、忙しい生活の音量を下げなければなりません。そうしないと、聖霊の静かな小さな声をはっきりと聞くことができないからです。主はいつも私たちに語りかけておられます。神が語っておられるかどうかは疑問ではなく、神はいつも語っておられるのです。疑問は、「私たちが耳を傾けているのか? 私たちは聞いているのか?」です。この描写をよく使います。同窓会の席でこの先生に、先生が多くの説教の題材や対象になっていることを伝えたと、少し驚かれました。しかしこの先生の名は、ボウマン先生。非常に静かな声で話されます。モノトーンの声のようで、基本的に先生はこんな風に話します。1音量だけです。高校に入学し、一年生の初日の授業で、私の国の習慣のせいで、私は先生に叫びました。「先生、声が聞こえないんですけど～! 大きな声で話してよ～」すると先生の答えは、「いいえ。これが私の話し方です。私の話を聞きたければ、あなたが静かにしなさい。」それが聖霊なのです。その静寂で小さな、洗練された声の聖霊は、私たちの注意を引くために、世の喧騒の声と競うことはありません。聖霊の言葉を聞きたいなら? 忙しい生活の中で、音量を下げる。特に私たちが生きている世界において、簡単ではありません。でも、そうする時は、ただもっと早くやっておけばよかったと後悔するでしょう。主は、あなたの人生に語りかけたいと思っておられるからです。主はあなたを導きたいと思っておられます。神はあなたを愛したいと思っておられます。では。私はこの2年間を振り返る時間を持ちました。2年ほど前から、聖書預言に早送りボタンが押されたようです。早送りです。昔に戻れません。早送りしたら、2倍速、4倍速、8倍速、16倍速、32倍速、64倍速であるのですか?

この1年と8ヶ月を振り返って、主に問いかけながら、私は一歩下がってひと息つきたいと思いました。2020年3月にさかのぼって、この1年8ヶ月を振り返ってみました。実際に自分の保存版を見て、どれだけの預言アップがあったか数えました。77でした。その数字はいいですね。わざとではありません。私はそんな賢くありませんからね。なぜ私はこれと言うのか? 理由は、主との時間の中で、主に問いかけました。「主よ、私は抑えた方がいいのですか? それとも、強化すべきですか? それとも、手に鋤

をかけて、自分のしていることを続けるべきですか？」そう主に尋ね、求め、求め続けました。叩き、叩き続けました。そして主は、私を導かれました。

「抑制している場合ではありません。今まで通りにしている場合でもありません。強化しなさい。」

これが、3つの懇願に繋がります。

1) ご理解いただきたいのは、「聖書預言・アップデート」の唯一の目的は、イエスを人々に、人々をイエスに一人でも多く、できるだけ早く届ける事。時間が少ししかありません。本当に時間がありません。

2) 主は私の心をご存知です。私は何よりも、自分が間違っていてほしいと思っていることを分かってください。もし私が間違っているなら、謙虚に皆さんに赦しを請います。

3) 私の言葉を鵜呑みにせず、ベリア人のように、ご自分で聖句を調べてください。もう一步踏み込みますが、ご自分でリサーチされるのをお勧めします。なぜなら、皆さんが聖霊の導きによって、すべての真理へと導かれるからです。それが「ヨハネの福音書 16 章 13 節」で聖霊について語られたイエスの約束です。さて、ここからは言わば、20 の「現実の話」です。この 1 年 8 ヶ月の間に、前述の 77 回のアップデートで大変詳細に説明したとおりです。それらはすべてウェブサイトで公開されています。(※日本語サイトにもあります) 私たちは、それらにきちんとタイトルを付け、説明を記載しています。私たちは、それらにきちんとタイトルを付け、説明を記載しています。文書版 PDF ファイルもあります。PDF ファイルをダウンロードしたい方は、その PDF ファイルの特定参照検索用リンクがあります。この 1 年と 8 ヶ月の間、私は毎週、この神の教会の説教壇に立つ特権を授かり、これまでに起こったすべての出来事について、事実を伝えようと最善を尽くしてきました。しかし再度、私の言葉を鵜呑みにしないでください。皆さんが、御自身でリサーチしてください。では、本題に入る前に、ユーチューブとフェイスブックでのライブ配信を終了します。まだの方は、ウェブサイトに移動してください。

一本編一

前置きした通り、これらを見ていくように時系列に沿った順序があります。しかし、どうかどうかどうか留意いただきたいのは、まだまだ分からないことが多数あるという事。できるだけ時系列に沿って説明していきたいと思います。そして、これは現実の話だということを再度前置きしておきます。私は控えめに言うつもりはありません。私には出来ません。それは出来ないのです。現実の話、

1 番。これは、救われている人たちにとっては、教会携挙で終わります。そして、悲しいことに、救われていない人たちにとって、7 年の患難時代とともに、終わります。これが終わり方です。

2 番目。これは、これまでも、そしてこれからも、化学兵器として設計され、人間が造り、特許を取得した生物兵器であり続けます。それがこれです。

3 番目。これは、人口管理を旗印に、世界的な大虐殺の背後にある悪魔の策略で、一旦持続可能なレベルまで人口を減少させ、人口を持続的に支配することが可能になります。人口を支配するための人口管理。

4 番目。このいわゆるワクチンは、ワクチンではなく、コロナとして知られているもののために作られたものではありません。コロナが、いわゆるワクチンのために作られました。

5 番目。このいわゆるワクチンは、何万人もの人々を死に至らしめており、数え切れないほどの人々を傷つけています。また、数え切れないほど多数に傷害が出て、中には後遺症が残る人もいます。

6 番目。全国民にワクチン接種というこの悪魔的欺瞞は、最終的に、世界中に残った人々を世界的なデジタルシステムに接続します。

7 番目。このシステムは、ブロックチェーン技術を用いた生体認証 ID と接続され、ワクチン接種認証として利用されます。今から言うことをよく聞いてほしいのです。これは、予防接種の証明ではありません。ワクチン接種の証明です。それが彼ら自身の発言です。これは予防接種証明ではありません。そうではなく、接種したことを証明するのです。

8 番目。このワクチン接種証明と規制遵守により、売買するための社会的信用度が決定されます。ところで、私たちはすでにこれを目の当たりにしていますが、気づいていませんか？ これを手に入れるためのあなたの準拠は、悲しいかな、この状態で決まります。レストランに入って、座って食事ができるかどうかが決まってしまうのです。

9 番目。この社会的信用度システムによって、あなたが何にアクセスできるかが決まります。具体的に、基本的な商品とサービスの供給です。それが前提となります。

10 番目。このような基本的な商品やサービスへの需要は、サプライチェーンの混乱と最終的な制限によって生じます。気づいていないかもしれませんが、今まさに起こっていることです。需要と供給の原理です。供給増、需要減。供給減、需要増。そのため、ある情報源によると、カリフォルニア州では、ガソリン 1 ガロン (3.78L) が 8 ドル (¥911) です。ガソリン 1 ガロンが 8 ドル (¥238/L) お店に行くと、価格が格段に高くなっていることに、もうお気づきでしょう。実際、休みの時にこれに気づきました。”テイクアウト”しなければなりませんので。ー(笑)ー ごめんなさい。笑わなければなりませんから。笑わなければ、また泣いてしまいます。大の大人が泣いているのを皆さん、見たくないのは分かりますからもう泣きません。それで、この店のメニューを保存していたんです。どの店かは重要ではありません。2 年半から 3 年くらい前のものです。私はそれを見て、ああ、そうだ、これがいいね。これも、これもと。なぜそれが可能だと思うのか？お〜因みに、そのメニューの価格は、変わっていて、それで同じ店に、新しいメニューを見に行ったのです。これは大袈裟ではありませんよ。OK。言います。私はメキシコ料理が大好きです。OK。それだけ言っておきます。エンチラーダ。\$15.95 (¥1816) だったのが、もう違います。今や、\$18.95 (¥2158) です。つまり、上昇率で計算してみると、これは低い部類の 1 つでした。そのメニュー品があることが前提ですよ。私は冗談めかして、家族に言ってみました。「あのエンチラーダは、まだコンテナで太平洋横断中だね。」ー(笑)ー 失礼。輸入品の 40%が、カリフォルニア州を經由して入ってきます。前回見た報道ですが、これを検証してみてください。何万個ものコンテナを積んだ 57 隻の貨物船が海に停滞しています。理由が分かりますか？ それが次の 11 番目です。

11 番目。この供給連鎖の混乱が、世界経済支配解体を完全完了させるため意図的に行われています。

12 番目。この世界経済支配解体が完了すると、世界経済フォーラム提唱の、第 4 次産業革命に繋がります。人工知能です。人間と機械の融合。

13 番目。この第 4 次産業革命、通称：偉大な再設定が意味するものは、引用します。「何も持たずに幸せになる。」へ〜

14 番目。この偉大なる再設定は、実は大いなる妄想で、最終的に 7 年間の患難時代に実現し、最終的に成就します。

15 番目。この大患難時代とは、「ヨハネの黙示録 6 章から 19 章」の預言通り、言葉にならないほどの恐怖の時代です。

16 番目。この言いようのない恐怖には、獣の刻印や像、獣の崇拝を拒む者を斬首することも含みます。

17 番目。このまだ未来の、まだ未来の、まだ未来の獣の印、獣の像、獣への崇拝は、それをする者を永遠に運命づけるでしょう。ここで、いくつかの点を明確にする必要があるので説明します。これはよくあることなんです。「接種して、後悔しています。受けなければよかったです。私はまだ救われているのでしょうか？」—もちろん救われています。あなたの救いが、この接種に関係ないことを神に感謝します。なぜなら、新生しているなら、再び新生していない、にはならないからです。救われているなら、救われていないことにはなりません。その理由が分かりますか？なぜなら、もし救いを失うためにできることがあるなら、それは救いを保つためにしなければならないことがあるということになります。それを「行い」と呼びます。それなら、“私は恵みによって、信仰によって救われた”ではなくなります。神からの賜物ではなくなります。

行いによるものではありません。だれも誇ることのないためです。(エペソ 2:9)

それが意味するのは、「ねえ、あなたは救われた。しっかり保ち続けてね。ごきげんよう。」それは恵みではありません。それは救いではありません。「ローマ人への手紙 8 章」で使徒パウロが明確に語っています。

ローマ 8

39 私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。高いところにあるものも、深いところにあるものも、どんな暗闇の支配者たちや力も、そのほかのどんな被造物も。

どんな被造物も。接種を意味していますか？ はい、していませんね。では、よろしいですね？「私は接種しました。どうすればいいですか？」できるだけ愛情を込めて言いたいと思います。祈り、神の慈悲を求める必要があります。絶対に2度と接種しないでください。なぜなら、ワクチンの中身が故です。中に何が入っているか知っていますか？ これは、今日は止めておきます。

18 番目。この獣の刻印、像、崇拝は、技術的に整っており、“アジェンダ 2030”によって実行される準備が整っています。

19 番目。この“アジェンダ 2030”は、読んで字のごとく、ゴールであり、計画です。それが計画にあり、彼らには計画があります。不平等の解消で世界を変えるため。- これは数ある中の2つに過ぎません- お〜とても愛らしい響きです。持続可能という言葉があります。都市や地域社会を継続可能にする。何も所有していないのに幸せなのは、我々があなたが幸せになると言ったからです。

最後の 20 番目。このご立派な新変革された世界は、7 年後に終わります。その時世界が、全ての人の目が、イエス・キリストの再臨を見るでしょう。そして、私たちはイエス・キリストの花嫁として彼と一緒に来ます。

あの賛美歌のことを考えていました。”あなたがたはこの世を手に入ればいい、私にはイエスを下さい。”でもまだです。私たちが携挙された後は、あなたたちは好きなようにできますが、まだです。お〜ところで、ネタバレですが、ご立派な新変革世界を手に入れても、それを持っていられるのは7年間だけです。ははは。ごめんなさい。今のは、聖なる満足感のようなものです。続いているうちはお楽しみください。

しかし最後は、すべての者が目にし、すべてが膝を屈め、すべての舌が告白します。「イエス・キリストは主です。」(ピリピ 2:10-11)

天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。」(使徒 4:12)

唯一の問題は、すべてが膝を屈め、すべての舌が告白するその時は、救いのためではありません。永遠に

続く天罰のためです。現実の話です。現実の話。自分が大まかな筆で、キャンパスに描いたのは分かっていますが、聖霊がここから詳細を提供し、預言的な点を繋いでくださいます。なぜなら、繰り返しますが、私たちをすべての真理へ導いて下さるのは、聖霊だからです。これはもちろん、私たち全員が私自身を含めてですが、聖霊（御霊）がこんにちの教会に語られることに聞く耳を持っていることが前提です。私は信じます。心から疑いなく、聖霊が今日の教会にこう仰っています。

「備えなさい。」整えるのではなく、備えるのです。

なぜなら、イエスは、私たちが思いがけない時に来られるからです。（マタイ 24：44 参照）

それが、いかに近づいているかです。私たちは備えなければなりません。備えなければなりません。これが、私たちが「聖書預言・アップデート」をする理由です。また、福音/イエス・キリストにある救いの良い知らせで締めくくる理由です。これが、子どもにでも分かる簡単な「救いの ABC」を説明する理由です。

福音とは何でしょうか。福音とは「第一コリント 15 章 1 節～4 節」使徒パウロがコリントへ書いた手紙で定義されています。福音とは良い知らせ、それが福音という単語の意味です。「良い知らせです。あなたの負債は支払われました！あなたは自由です。」良い知らせ＝福音です。「何の負債ですか？」「お～罪の負債です。」「罪の負債とは？」「お～死”です。」「それが支払われたのですか？」「そうです。だから良い知らせなのです。」しかし、悪い知らせがあります。誰かがあなたのところへ来て、こう言うのって嫌じゃないですか？「良い知らせと悪い知らせがあるんだけど、どちらを先に聞きたい？」さがれサタン！！ 良い知らせが聞きたいのだ！ 耳に心地よいことだけ話してよ。いいえ。先に悪い知らせを言います。悪い知らせが悪ければ悪いほど、良い知らせがさらに良くなるのですから。悪い知らせは、私たち誰しもが罪びとだということです。ですから誰しもが、天国に入る為には新生しなければならないのです。そして良い知らせとは、イエスが（地上に）来られ、私たちの身代わりに十字架にかけられ、死なれ、私たちの代わりにイエスが血を流された事。イエスは、私たちの罪の代価を全額支払ってくださいました。債務超過の解消です。私たちの身代わりで死なれたことによって。そしてイエスは葬られ、3 日目に、死を打ち破りよみがえられました。”そして”イエスは、再び戻って来られるのです。イエスが天の御父のところに私たちのために用意下された場所へ、私たちを連れて行くために。（携挙）

わたしの父の家には住む所がたくさんあります。（ヨハネ 14：2）

皆さん、興味深くないですか？ これは、ちょっとしたことですが単純化しすぎないのをお願いします、一緒に考えてみてください。イエスは、患難時代前携挙のことを話しながら、弟子たちに仰いました。

わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。（ヨハネ 14：3）

わたしは、あなたをここから連れ出すのです。わたしが用意するその場所に、あなたを連れて行きます。それが携挙です。それが良い知らせです。皆さんその意味分かりますよね？ イエス・キリストについての救いに辿り着き、神の御霊によって、新生したキリストにある私たちは、この終わりは、大変良いのです。大雑把な言い方かもしれませんが、その終わりは、ほ～～～～！！つまり、ほ～～～～！！です。一拍手ー

使徒パウロはこのように語っています。待ち受ける栄光には、苦しみも、迫害も、苦難も、痛みもなく、この地上と比べ物にもなりません。

今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りないとは私は考えます。（ローマ

8 : 18)

もうそれほど長く待つことはないと言わせて頂きます。「救いの ABC」とは何でしょうか。繰り返しますが、救われるための簡単な説明です。私が 39 年前に救われた方法です。私はそこへ (A)来なければならなかったのです。認めざるを得なかったところです。皆さん、何かご存知ですか？私は罪を犯しました。罪を犯してしまいました。私は罪びとです。自分が罪びとだと認めるまでは、救い主には興味がありません。こんな言い方はしたくないのですが、下品に聞こえるかもしれませんが私が罪びとでなければ、救い主の市場には行きません。罪びとでないから、救い主を求めません。罪びとなら、救い主がまさに必要です。その通り！ 私は、この言葉が好きです。神は、私たちに救い主が必要なものをご存知でした。だから救い主を送ってくださったのです。神は、法律家を送ったのではあられません。あなたが法律家なら、あなたが大好きですよ。しかし、それは私たちの最大の必要性ではありませんでした。なぜなら、私たちの最大の必要性が、神の最大の行為だったのです。私には、法律家も政治家も電気工事士も必要なかった。実は、電気工事士が必要だったかもしれません。でも、私には救い主が必要でした。それが必要なのです。だから神は、救い主を送ってくださったのです。神の最大の行為が、私の最大の必要性でした。それが A です。ローマ人への手紙 3 章 10 節に書かれています。

「義人（正しい者）はいない。一人もない。」

その意味が分かりますか？ あなたは良い人かもしれませんが、おそらくそうでしょうが、決して十分ではありません。私たちは人のことをこう言いますよね。「彼らは良い心がある。」おそらくそうでしょう。でも、エレミヤに聞いてみるといいかもしれません。私の親友エレミヤがそのことについて知っているからです。実は、主はエレミヤを通して仰いました。

「人の心は何よりもねじ曲がっている。」（エレミヤ 17 : 9a)

隣の人を見てください。「彼らの心は、隣の人を見ないでください。...ねじ曲がっています。」

「だれが、それを知り尽くすることができるだろうか。」（エレミヤ 17 : 9b)

人は外見だけを見ますが、神は心の中を見られます。私たちは性根が悲惨です。使徒パウロを考えます。翻訳に依りますが、基本的にこう語ります。

私は、自分の肉のうちに善が住んでいないことを知っています。（ローマ 7 : 18)

ある翻訳はこういう風に語ります。「私は根っからの腐った人間です。」私は汚い、臭い、腐った罪びとであり、救い主を必要としています。「あなたは救い主を知っていますか？」「はい、知っています。」「良い知らせですね。」

ローマ人への手紙 3 章 23 節「すべての人は”罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

ローマ人への手紙 6 章 23 節が好きです。もっと良い言い方が見つかりませんが、悪い知らせと良い知らせがセットなのです。悪い知らせが先です。悪い知らせとは何か？ 一死の罰則です。

「罪の報酬は死です。」（ローマ 6:23a)

それが罰則です。それは、あなたが獲得したもの、死です。しかし、良い知らせがあります。

「しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」（ローマ 6:23b)

この描写をするのに飽き飽きしてほしくありませんが、これをしないと大変なミスを犯すと思います。特にクリスマスシーズンを迎えるこの時期。プレゼントは、海上のコンテナで停滞していますが、そう言われましたよね？ しかし、私たちは贈り物をしますよね。贈り物って何でしょうか？贈り物です。あなたが支払いません。それをまた誰か他の人にあげるかもしれません。多くの人が他の人にあげています

よね。しかし、あなたが支払ってはいません。お金を支払っていたら、それは贈り物ではなく、購入したものです。誰かがそれを支払ってくれたのです。イエスがなさいました。イエスが代価を支払われました。

私たちは自分自身のものではありません。代価を払って買い取られたのです。(第一コリント 6:19-20) イエスは、命をかけてご自分の血で、私たちを買い取ってくださいました。イエスが差し出してくださった私たちが受け取るための贈り物です。 贈り物です。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節

あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

最近、私は B の中心性に焦点を当てて強調していますよね。本当に、ABC よりももっと簡単だからです。実際 B：信じる。というシンプルさです。心で信じるなら、ただ信じれば救われます。しかし、ただ救い主を必要としているのを認め、救い主に信頼を置かなければなりません。そしてイエスを信じるのです。そして、C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。

それは、心の中で信じた結果生じます。それが、私の場合だったのです私が”信じた”時、自分が救い主を必要としていることを認めた時でした。綺麗なものではありませんでした。皆さんの証の中には、何人かの証は知っています。皆さんの証がうらやましいです。大変素敵だから。私のは全然素敵じゃありません。私のは悲惨でした。ドラマチックでした。私はただ、一度自分の罪を認め、イエスを心で信じました。

「僕は地獄に行きたかない。」祈った時、私はとてもハイで、とても酔っていました。私は祈りながら眠りに着きました。私が知っていた祈り方は、「僕は地獄に行きたかない。」なぜなら、AC/DC の曲が「俺は地獄へのハイウェイにいるだったからです。私は行きたくない。私が行きたいのは、天国へのハイウェイ。ぐ〜（いびき）そして眠りに落ちました。翌朝、目を覚ますと、私はキリストにあって新しく創造されました。すべてのものが過ぎ去り、私は振り返りませんでした。私は新生したのです。聖霊が今や私の中に住まわられていました。そういうことですね。これをさっと言います。あなたが主の御名を呼び求め、心で信じて救われると、神があなたの中に住まわれる聖霊を与えられます。神は、この聖別の御業を内外から行うのが再生プロセスです。あなたは新しく造られたのですから。再度、

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節

あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。

人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。(ローマ 10：10)

ですから、心の中で信じた結果として出てきた表現は、ただ泣叫ぶだけでした。「私を救ってください。私を救ってください。」と。それが全てです。魔法のような祈りがあるわけではありません。別に悪くはありませんが、この「罪人の祈り」をする人もいます。構いません。私は、祈りたくても祈れなかったのです。しかし、ペテロを思います。水の上を歩いた後に、主から目を離し沈んだ時、彼はたった 3 語で祈りました。「主よ、私をお救いください。(Lord, Save Me.)」神は、3 語の祈りに答えて下さいます。神が助けて下さらないのを、こういうの想像できますか？ ペテロが言う。「主よ、私をお救いください。」(ブクブク.. oO 水の中へ沈みながら) イエスが仰る。「君に、もっとより良い祈り方を教えただろ！ '天にまします我らの父よ、御名をあがめさせたまえ。' ともっと上手に祈るように教えたのに。」

違います。”主よ、私をお救いください。”イエスは救ってくださいます。3 語の祈りでも良いのです。

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節です。

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』（ローマ 10：13）

私たちは、“みな”です。そうでしょ？「しかし、神は。ストーリー」証で締めくくりたいと思います。しかしその前に、主があなたに語りかけられ、この礼拝に来ているか、オンラインで見ているなら、しかしその前に、主があなたに語りかけられ、この礼拝に来ているか、オンラインで見ているなら、現実になってきていることが分かりますね。現実になってきましたね。今日が救いの日です。永遠の命という、人生で最も重要な決断を後回しにしないよう切に願います。今ここで決着をつけてください。なぜなら明日は保証されていません。別に脅しているわけではありません。しかし私たちには、早すぎる死というものの携挙に先立って起こる可能性もあります。そういませんか？ では、これは素晴らしい励ましの「しかし、神は。ストーリー」証です。この教会仲間の兄弟から、共有する許可をいただきました。

「ご存知かどうかわかりませんが、私はコロナで倒れました。本当に体調が悪く、最初は 1 日 0.5kg ずつ体重が減っていったのですが、最終的には 1 日に 1 キロ近く減りました痩せたのはいいけど、もう二度とごめんです。3 月から、少しずつ体重が減ってきていました。医師からは、ギルバート症候群に関連した非アルコール性脂肪肝で肝臓が腫れていると言われました。高インスリンのため肝臓が炭水化物を脂肪に変えてしまい、他の脂肪が分解して出る毒素と一緒に肝臓に溜まるので、長年対応してきました。興味深いですね。妻が私の食事を変えたところ、体重が減り始めました。しかし私の肝臓は、脂肪細胞に蓄積された毒素を処理できませんでした。しかし、肝臓は脂肪を蓄えた毒素を水溶性に変換し、腎臓で毒素を排出するため尿として排出します。残念なことに、このため、夜も朝も腎臓が痛くなりました。そのため、妻は私に 1 日最低 12,000 歩歩かせるようになりました。歩いて汗をかいても、腎臓の痛みが取れなかった時、約 50 度のサウナに 1 時間入りました。コロナに感染した時、衰弱しすぎて歩く事も、階段を下りてサウナに行くことも出来ませんでした。私は寝ようとしてベッドで咳をしながら、見逃していた説教をすべて聞いていました。良ければその場でしますよ。ここで「しかし、神は」の瞬間です。コロナ感染で全く食べられなかったのですが、大量に汗をかきました。さらに 11 キロ減量した頃には腎臓の痛みもなくなりました。肝臓の腫れもなくなりました。咳が続いていることと、座って寝ていること以外は、とても気分がいいです。神は、害を与える為に人間が変換したウイルスを用いて私の体を治してくださいました。」神だけが御出来になる事ですね。一拍手ー

「あなたがたは私に悪を謀りましたが、（しかし）神はそれを、良いことのための計らいとしてくださいました。」（創世記 50：20）

やってください。やってください。続きです。

「ウィルスが長引いている様子はありません。髪の毛は少なくなりましたが。（気持ちは察しまよ、兄弟）私は 5 歳の時から、神は、私を携挙で救って下さると思っていましたが体調がかなり悪くなったのでもう家に帰りたと思っていました。私は今分かるのです。神は私のためにもいつもそこにいてくださいます。私も心配性ですが、JD、きっと同じ時期に癒されるでしょう。（OK。それは良いですね。）

追伸:皆さん、皆さんが私にとってどんなに素敵に見えるかご存知ないでしょう。私には、CCK（この教会）に本当の家族がいるのです。」お～褒めたたえます。ご起立ください。賛美チームは上がってきてください。今日のご忍耐感謝します。いつも通りですが、何度も言うようですが、気にされないのを願います。本当に皆さんに会いたかったんです。戻ってこれで嬉しいです。私は皆さんをととても愛しています。皆さんがそれをご存知なのを願います。皆さんをととても愛しています。会衆から「あなたをととても愛して

います。」勘弁して～マスカラが取れてしまう。やめてね。祈りましょう。

天のお父様。主よ、本当にありがとうございます。愛をありがとうございます。あなたの愛、私たちへの愛は、どれほど大きいのでしょうか。

人が自分の友のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。(ヨハネ 15:13)

イエス様、それがあなたが私たちにして下さったことです。私たちへのあなたの愛が故に。主よ、あなたからこの言葉を必要としている人たちがいることを感じます。あなたは怒っておられない。怒りはありません。あなたはすべての怒りを、十字架にかけられた御子に負わせられました。ですからあなたは、私たちに怒っておられない。あなたは私たちを愛しておられます。私たちが大好きなのです。そして私たちと一緒にいたいと思ってくださっています。私たちのために場所を用意下さっていて、その場所へ連れに来てくださる。もうまもなく、大変間近だと思います。主よ、ここにいる人、これを聞いている人、見ている人、すべての人が備えることを祈ります。主イエスよ、早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって。

アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7